

アイリスオーヤマ 茨城県に「つくば工場」を新設 国内9工場体制に強化

生活用品製造卸のアイリスオーヤマ株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：大山 健太郎）は、LED 照明の生産・供給体制強化と関東圏における物流の競争力強化を図るため、茨城県稲敷郡に国内9工場目となる「つくば工場」を新設します。竣工時期は2017年9月の予定です。

■「つくば工場」新設の目的

①LED 照明の生産・供給体制強化

国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）で採択された「パリ協定」の発効に伴い、当社では脱炭素化社会に向けて、LED 照明の需要が一層拡大すると予測しています。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた大型施設の建設需要や商業施設の再開発の動きに伴い、首都圏を中心に更なる市場拡大が期待できます。

今回、茨城県にLED 照明の生産工場を新設することで、当社は生産体制を分散することにより為替リスクを低減し、約2週間のリードタイム短縮※1を実現できます。また、国内工場の生産割合を引き上げ、首都圏を中心としたお客様の多様なニーズに対応できる供給体制を構築することにより、更なる事業拡大を実現できます。

②関東圏における物流の効率化

工場を新設する茨城県稲敷郡は、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の阿見東インターチェンジより約2km（約3分）と至近で、常磐自動車道、東関東自動車道へのアクセスが容易なため、首都圏及び関東全域へのスピーディな出荷を行う拠点として最適な位置にあります。

また、圏央道を利用することにより、埼玉工場（埼玉県深谷市）で生産するLED 照明のプラスチック製部品を「つくば工場」に効率よく供給できます。国内最大級※2の51,876パレットの自動倉庫を備えることにより、東関東エリアの物流拠点としての役割も担い、今後のアイリスグループの事業拡大に伴う物流量の増加と取り扱い商品数の増加にも対応します。

※1：大連工場のリードタイムと比較して。

※2：国内工場の単独自動倉庫において。

NEWS RELEASE

■「つくば工場」概要

- 所在地 : 茨城県稲敷郡阿見町大字星の里 26 番
- 土地面積 : 63,213 m²
- 建物総面積 : 109,009 m² (延床)
- 自動倉庫 : 51,876 パレット
- 生産品目 : LED 照明 (ECOHiLUX ラインルクスシリーズ、LED シーリングライト)
- 販売計画 : 初年度 200 億円
- 竣工時期 : 2017 年 9 月
- 総投資額 : 約 100 億円 (土地 : 約 20 億円、建物・設備他 : 約 80 億円)
- 新規雇用人数 : 130 名 (予定)

■国内工場



工場名	つくば	北海道	角田	大河原	埼玉	富士 小山	米原	三田	鳥栖	合計
敷地面積 (m ²)	63,213	44,852	344,576	27,180	102,118	22,890	135,854	39,099	159,736	939,518
工場床面積 (m ²)	109,009	17,917	61,348	23,067	82,289	31,258	50,217	38,419	89,040	502,564
自動倉庫 パレット数	51,876	11,286	26,105	156	62,437*	18,307	48,008	12,540	24,468	255,183

※埼玉工場は第一自動倉庫、第二自動倉庫の合算